



PHOTO：早春の花 クロッカス

## 地域特性を活かした 経済の活性化



網走商工会議所  
会頭 中原章博

### ◆年頭のご挨拶

輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は国政で新たな指導体制が誕生しております。エネルギー政策、社会保障と税の一体改革、価格転嫁対策などの課題が残る消費税増税、T P P交渉参加問題など我々地域経済に直結する国の将来への重要課題が山積しています。新たな政権には強いリーダーシップのもと経済再生に向けて真摯に取り組まれることを期待します。長引く不況から脱出するには、多様性ある中小企業支援策の拡充が急務です。我々としても日本商工会議所を中心とした全国商工会議所の組織網を強固にして政府等へ強く働きかけて参ります。

さて、網走を取り巻く経済環境は総じて大変厳しいものがあります。将来への大きな課題の一つは人口減少問題です。地域の特性を生かした交流・定

あばしり  
商工会議所

# 会議所ニュース

〒093-0013  
北海道網走市南3条西3丁目  
TEL 0152(43)3031  
FAX 0152(43)6615  
<http://www.cci.knc.ne.jp>

平成25年1月1日  
No. 206

住人口の拡大策の展開が急務です。昨年、ラクビーなどスポーツ合宿で網走に宿泊した数は延べでおおよそ1万7千人にもなります。何かの目的・魅力を求めて来られる方を魅了し再訪につながる事が大事です。私共も昨年は、乗馬やカヌーなどの体験プランと食の構を際立てた「旬の旅」スタイルの構築に向けて関係事業者と共に試行してきました。本年はその結実の年であり、3年後に函館に開通する新幹線を我が地域に取り込む2次交通の構築を網走周辺地域と一体となつて取り組んで参りたいと思っております。定住人口の拡大では、特に若者などの雇用の創出が必要です。豊富な一次産品に付加価値を高めるモノづくりでの起業・創業もその一つです。私共は規格外イチゴを活用した商品化や地元二条大麦を活用した商品づくりへの支援を行っています。今年には更に東京農業大学オホーツクキャンパスとの連携を強固にして起業・創業の環境整備を強化して参ります。網走の産業は建設業での職人不足問題などそれぞれが多くの課題を抱えております。バランスある産業の発展と網走経済の活性化に向けて、今年も全力でまい進して参りますので、皆様の一層のご理解ご支援を心からお願ひ申し上げます。

結びに本年が皆様にとって実り多い輝かしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

# 『包括連携による今後の地域振興』

## 新たな連携を目指し！包括連携協定締結へ

【新春号特別企画】



「包括連携」について論じ合う横濱学部長(右)と中原会頭

東京農業大学生物産業学部は平成元年に網走に開学されて以来、これまでに地域の経済発展に多大な貢献をされてこられました。特に地域の主要産業である一次産業(農業・漁業)第二次産業(製造業)などを中心に農作物などの分析調査や新商品開発に向けた取り組みのほか、学生が当地に移り住むことで雇用の創出や消費の拡大など、現在当地にとって無くてはならない存在となっております。

今後は、東農大と包括連携協定を締結することで、互いに大きな目的達成のために支援や協力をするのが可能となっております。

そこで今回、包括連携協定締結に向けて重要な「人づくり」「ものづくり」「まちづくり」の3点について、東京農業大学生物産業学部長 横濱道成氏と網走商工会議所会頭 中原章博氏のお二人に、その方向性について対談をしていただきました。

### らうけんもくしんもくしん

中原 まず、ご挨拶を兼ねて横濱学部長が、網走タイムズの2011年1月に「地域における大学の役割」として掲載された記事の中で、私がとても惚れ込んでいた部分についてお話しさせていただきます。

『網走市を中心としたオホーツク圏は一次産業の盛んな地域で、わが国における食料の生産基地である。原料生産は盛んであるが、残念ながらそれを加工して高付加価値をつけ、雇用拡大に繋がるような産業ネットワークの基盤は弱い。本学部の教育は、単に農林水産業に関わる生産だけでなく、それらを活用した高次加工、そしてそれらを流通させる市場開拓までの一貫した教育研究を展開す

る事が最大の目標である。その意味で本学部がここオホーツク圏に立地していることは教育研究のメリットである。大学の役割は高度な教育や技術を備え、人間力に優れた有為な人材を育てることである。このことは大学が地方にあるからと言って変わることはないが、本学部のような場合には、地域の課題を教育・研究のテーマとして受け止め、その現場を教室として、特に産業面で地域振興に資することに資する。同時に、その取り組みを通して教育的には各地域や専門領域におけるリーダーとなり得る人材を育てて畑(各地域や専門領域)に還すことにある。東京農業大学が広義の農業を展開して大学の役割を果たす場合には、ここオホーツク圏は最適の環境となっている。』とあります。

また、東農大のこれまでの取り組みを紹介すると、『学部発足以前から網走寒冷地農場を舞台として、網走市、農協、改良普及所など関連団体との連携によって畑作の生産向上に取り組んできた。最近ではサツポロビール社との研究連携を実施しており、ホップの栽培試験を網走市で初めて実施しました。食品加工面では、製品開発は技術協力の形で地元企業や網走市との連携によりビール、流水ドラフトや魚のすり身を使った「せんべい」や「ドーナツ」の開発。

また、新規家畜による産業振興を目的としてオーストラリア原産のエミューの

増殖やその生産物を活用した商品の開発。そのほかにも「オホーツクものづくり・ビジネス地域創生塾」の開講で社会人の人材育成についても実施されております。

そのほか、地元からの委託研究は生産や製品開発だけでなく広範囲に渡っており、年間40件以上になっております。

また、この大学が捉えている地域の課題(教育の方針)として、農林水産業に関わる生産だけではなく、それらを活用した高次加工。そしてこれらを流通させる市場開拓までの一貫した教育研究を展開することを最大の目標としているとのこと。

私ども商工会議所も同様に考えております。その上で、互いに連携強化を行っていきたいと思います。

これは、私自身の考えですが連携を強化することによって今芽生えてきている物づくりの気運を途切れないようにし、そのために製品の魅力を強化したい。販路開拓、売り込むことに力を注ぎたい。このことが学生や先生方のステージになりうるだろうし、延いては卒業する学生たちの雇用の面でも資することになる。大学がある街、そのモデルというようなものが構築できればいいと思います。

横濱 開学以来、各地域や各団体、企業などから様々な協力を得ており、商工会議所にも学生の活動に関して全面的な協力をいただいております。

当学部としては、中原会頭が言われるとおり大学の通常の教育研究だけではなく、地元の資源を活用しながら生産や加工・販売までを行う一貫教育を24年間実践してきました。今、やっと何とかな形が見えてきた感じがします。

これからもその方針は変わりませんが、そうでなくては当大学の存在価値がなくなってしまうと考えております。



これからの益々のご支援ご協力をお願いしたいと思います。

## ◆これからの人材育成の方向性について

「地元で文化をつくり上げたい」が重要



中原 当所の人材育成の取り組みについてですが、まずは経営に関する系統だったテーマに沿って開催を継続している経営塾があります。企業の経営課題の解決に向けて様々な形で取り組んでおります。そのほかにも定期的にセミナーを

開催しており、過去には農大生の参加をいただいたこともあります。また、社会人としての基礎を学んでいただくために新入社員に対する研修は半年後にフォローアップ研修を行うなど、ひとつづくりのための事業に取り組んでおります。

横濱 大学としてもオホーツクものづくりビジネス地域創生塾を開催し、大学として地域の課題解決に努めております。経営だけではなく生産から加工まで、市や各団体とも一体となって動かなければならない面もあり商工会議所との連携において進めていくことも今後重要になってくるものと思います。

本プロジェクト終了後に、どのような形で進めていくのが大きな課題でもありますので、今後、商工会議所ともジョ

イントして対応していけないかと思えます。

中原 今のお話は農大と商工会議所との連携のお話ですが、農大は地域の金融機関とも連携されているほか、農協や漁協ともそれぞれ強い関係がございますよね。

横濱 市や市内の金融機関とも連携したほか、これからは商工会議所とも連携します。農協や漁協とは常に密な関係が築かれております。

また、漁業の将来について考えると、たくさん獲れたものをすぐに捌くのではなく、蓄養型として、今の時期に美味しい高級魚などを獲って置き、それを冬眠させるなどして活かし、流水が来て魚の獲れない冬の観光時期にそれらの新鮮な魚を放出していけば網走に人々を呼び込むことができるのではと考えています。

中原 観光客が多く集まる冬期間に地元の活魚が食べられると言うのはとても良い取り組みになりますね。

横濱 それこそが資源の有効活用と言えます。

また、大学は地域のリーダーとなる人材（大学生）を農協や漁協、網走市や商工会議所などと協力して教育するシステムを作れば面白くなると思います。

中原 是非、一緒に新たな組織を作っていきましよう。

横濱 包括連携を締結した中で、良い組織が立ち上がっていくために協力できればと思います。

中原 話は変わりますが、先日、第一水産の山濱け「カラフトマスの寒風干し」を食べたらとても美味しかった。付加価値をつけて販売しているため原材料よりも遥かに高い値段で売れますよね。

横濱 網走地域は、ものづくりでも食文化でも本場にすごい良いものをもっていらっしゃると思います。新潟県村上市などは鮭一

品を上手に活用し街全体の観光の目玉にしています。

そう考えると資源が豊富にある地で、その様な取り組みが出来ていないというのは問題です。地元で文化を作っていく姿勢が大事であると思います。

中原 ものづくりと絡んだ話でもありますが、当地でも材料の生産から最終完成品まで作り上げることが出来ると思うのですが。

横濱 私も出来ると思っております。中原 東農大の力を得て、一次産業の生産性は向上してきていますね。これからは二次・三次産業にその影響が伝わっていないものかと考えております。

横濱 創生塾がそれを目指したもので、付加価値をつけるための人材育成が大切です。創生塾では2年間のコースの中で、必ず1品目の加工品を開発すると言うミッションを実施しています。

中原 製品化するモノによってはそんなに難しいことではないと思いますが、まず、実践しようとする人を育てる事が先決なのかもしれないですね。

横濱 うちの学生の9割は道外出身者ですが、今の学生たちは昔の学生と違い、農作物を作る現場の風景というのがわかっていない。だから研究のための研究をしているのか、何のために研究しているかがわかっていない。これが非常に大きな問題となっています。網走では現在も日常的に農作物を作る現場の風景が見られるため、今の学生には体験型の授業を多く行い、なるべく地域の人と交流し、現場の風景を目に焼き付けてもらいたいと思っています。地域にはそのような役割もあると思います。

また、私は生産・加工・流通のほかに消費の仕方についても教えていきたいと思っています。現在、世界的に見ると食料が豊富な国と、そうでない国に分かれ、

途上国などでは生産するために非常に大変な思いをしていることを理解してほしいと思います。

学生達にはもし自分が利用する側になった場合、どうするか哲学的に考えてもらう必要があると思います。日本の食料自給率はカロリーベースで現在40%ですが、その中で捨てている部分が14%ほどあり、その無駄な部分についての教育をしなければ、いくら生産しても無駄となってしまうと思います。捨てずに再分配できる先進国もあることについて教育していきたいと思っています。

## ◆研究結果と新たなものづくりの方向性について

「風景・風土を取り入れ網走らしさを出すことが必要」

横濱 ものづくりについては、豊富な資源に付加価値を付けて売ることで雇用が増えます。現在人口が減少していますが農産物、水産物の有効な活用について大学としてもここに力を入れる必要があると考えております。

ただ、それが商品開発まで行くかどうかは課題であると思いますが、地元で製造業を行っている方々にもっと活用してほしいと思います。

そこを商工会議所が仲介役となつて周知し、企業や団体を紹介していただくと助かります。大学側から何もない状況で一般企業に足を運ぶことは難しいものがありますので、まだまだ網走にはあまり手間を掛けずに付加価値を付けて商品化できそうなものがたくさんありますよね。

中原 当所でも、農大の協力を得て一番はじめにカラフトマスの商品開発を行いました。その後、規格外イチゴを活用し

てアメなどを作ってきました。

自らが販売し儲けることが目的ではなく、規格外のものであっても色々な団体や企業と連携することで、新たに付加価値を付けて販売することができるということを知っていたために実施してきました。

**横濱** 大学側としてはいつでも協力いたします。こんなことも聞いてもいいのかと思うようなことから始めることも大事ですよ。

**中原** 私共はこれから新たに「食の研究会」と言うものを作りたいと考えております。これは農業・水産業の生産者や製造業など、様々な分野の方々へ地域資源の活用について勉強してもらい、意見交換や懇談の場を作っていきたいと考えております。

その時には是非、東農大の先生方にも参加いただき意見等をお聞かせいただければと思います。

また、近郊の農家で6次産業を行っている方と話しをしたのですが、多くの農家は常に忙しいため、二次・三次産業まではできない状況にあるとのことでした。それであれば我々として何ができるか考えて提案し、やりたい人ができるシステムを構築していこうと考えております。

また、工業統計の粗付加価値率を見ると、農産物を使って製造している街の方が付加価値率は高いことがわかります。

**横濱** 我々も資金面ではお役に立てないが、アイデアなどの支援はできるものと思っています。

**中原** 砂川市には、農産物と水産物を組み合わせた菓子を作る有名なメーカーもあり、市の粗付加価値率を見ると網走の倍以上あります。網走の付加価値率は21年度17・18%、22年度22・07%であるのに対し、砂川は21年度47・42%、22年度45・63%となっており、粗付加価値額は網走

が80億、砂川は網走の人口の半分であるにも関わらず粗付加価値額は90億と10億円も多くなっています。

**横濱** 網走において、どのように企業化する人達を発掘していくかが重要。大学だけではどうしようも出来ません。やはり、商工会議所や様々な団体と連携して



いくことが大事であると考えます。

網走は観光業のほか農業と水産業の一次産業の街でもあり、住んでいる市民と農業や漁業との接点が少ないため、どのようなのをとれているかわからない状況にあります。

今後は網走の未来に向けて、漁業者も農業者も子供達に関心を持たせる取り組みが必要であると考えます。まずは網走の子供達に自分の住んでいる街の基幹産業が何であるかを知ってもらうことが重要で、そのために大学が出来る役割を果たしていきたいと思います。

**中原** 今まで話ってきた内容以外に、この街でできる取り組みについて何かございましたらお話し願います。

**横濱** 風景とか風土を取り入れた教育を行うことで、網走独特の雰囲気と言うものが出せると思います。

現在、大学では「香」に力を入れております。網走らしさということで、じゃがいもや花から香を抽出する研究をしておりますが、なかなか難しいものでもあります。

このように、新しい資源を使って将来女子学生が事業化を目指すようになって

くれれば良いと思っています。  
**中原** 起業等についての相談は商工会議所が窓口となっております。お手伝いすることもできますね。

## ◆地域における役割とまちづくりの方向性について

### 「網走川を活用したまちづくりを指す」

**中原** では、まちづくりに目を向けたいと思います。夏まつりの開催や流水まつり・七福神まつりなどのイベントに対する支援の他、TMO事業委員会を立ち上げ、まちプラの運営による商店街活性化推進、桂陽高校の販売促進、まちなかマルシェ等のイベント開催について協力しております。

また、中心市街地活性化協議会による街づくり支援、今後の街づくりに対する協議を重ねております。

農大生には、今後も様々なイベントに参加していただきたい。学生にはよそもの（網走出身以外の学生）も数多くいるし、若者の感性がとてすばらしいと思っております。

我々はこの地に住み慣れてしまいがちな部分も多いことから、外からの意見はとても重要な資産であると思っております。

**横濱** どんな街にするかというブランドデザインが重要になってきますね。私も網走に来る前にカナダのオタワに行ったことがあります。

その街は、網走と同様に湖・川・海がある所でした。とくに運河があつて河沿いにきれいなレストランがあり、ヨットなどが置いてあり、雰囲気がとても良かった印象があります。網走と似た要素をもっていますので是非とも、オタワの

街づくりを参考にしてもらいたいと思います。

**中原** 当地も網走ビール館やエコーセンターなどの照明が川に反射してとても美しい景観もつくられてきましたね。

**横濱** これからの街づくりとして、現在、街中にある空き店舗を何とかしようとするならば、視点を変え、川沿いの出店に力を入れてもいいのかと思います。モロ貝塚も整備され、地元の産業と協力的ながら川沿いの倉庫などを活用し市場的な川沿いになれば今の中心街にも波及するものがあるのではないのでしょうか。

これからの網走は川を中心とした街づくりが重要であると思っております。とにかく見せる形の川の整備が必要です。また、学生達が気軽に飲み食いできるお店も必要です。番屋などを川沿いに整備すれば良い雰囲気ができると思います。

## ◆まとめ










































**中原** 今回はこのような形でとても有意義な話ができました。今後も包括連携を機に情報交換を重ねながら地域発展のためステップアップしていきたいと思っております。

**横濱** 大学としても商工会議所が会員企業からなどの提案を当大学に持ってきていただければ先生のレベルも上がるし、地域経済の貢献に繋がると考えています。今後とも是非、ご支援ご協力をお願いいたします。

**中原** 今後の「ひとづくり」「ものづくり」「まちづくり」を考えることは、地域の課題解決にもつながっていくことだと思います。是非とも地域活性化に向けて地域のリーダー的人材としての「現代の榎本武揚」をつくりあげられるために今後とも連携してまいります。本日はどうもありがとうございました。



◆網走商工会議所役員議員のご紹介

|  |  |  |   |  |   |
|--|--|--|---|--|---|
| <p><b>賀正</b><br/>2013</p>  <p>今年もよろしく<br/>お願い申し上げます</p> |  <p>会 頭<br/>中原 章博<br/>税理士法人 みらい<br/>パートナーズ会計 代表社員</p> |  <p>副会頭<br/>大庭 春男<br/>㈱大成印刷<br/>代表取締役会長</p>           |  <p>副会頭<br/>北村 譲二<br/>㈱北村鉄工所<br/>代表取締役</p>       |  <p>専務理事<br/>尾崎 行雄</p>                        |   |
|  <p>常議員<br/>前田 敏彦<br/>㈱高田太郎商店<br/>取締役会長</p>             |  <p>常議員<br/>須藤 武夫<br/>㈱北 都<br/>代表取締役社長</p>            |  <p>常議員<br/>松田 和夫<br/>松田久太郎畳店<br/>事業主</p>             |  <p>常議員<br/>木村 禎夫<br/>(有)木村写真館<br/>代表取締役</p>       |  <p>常議員<br/>篠原 肇<br/>㈱篠原商店<br/>代表取締役</p>      |  <p>常議員<br/>伊藤 悟<br/>千里堂メガネ㈱<br/>取締役会長</p>           |
|  <p>常議員<br/>加城 祐史<br/>オホーツク警備保障㈱<br/>代表取締役</p>          |  <p>常議員<br/>松本 裕司<br/>㈱松本サッシ<br/>代表取締役</p>            |  <p>常議員<br/>本間 弘哉<br/>㈱木下鉄工所<br/>代表取締役</p>            |  <p>常議員<br/>根田 俊昭<br/>㈱マルキチ<br/>代表取締役社長</p>        |  <p>常議員<br/>轉石 洋輔<br/>㈱力ネカク轉石<br/>代表取締役社長</p> |  <p>常議員<br/>笈田 壽一<br/>㈱大東建設<br/>代表取締役</p>            |
|  <p>常議員<br/>前元 政芳<br/>ダスキン網走街オオニシ<br/>代表取締役</p>        |  <p>常議員<br/>空 英雄<br/>(有)スカイファーム<br/>代表取締役社長</p>      |  <p>常議員<br/>千坂 壽一<br/>北見食品工業㈱<br/>代表取締役専務</p>        |  <p>常議員<br/>田上 壽春<br/>網走バス㈱<br/>代表取締役社長</p>       |  <p>常議員<br/>山本 昌廣<br/>山本電子工業㈱<br/>代表取締役</p>  |  <p>常議員<br/>岩船 英教<br/>㈱北海道銀行網走支店<br/>支店長</p>        |
|  <p>常議員<br/>鈴木 秀幸<br/>(有)ジラス<br/>代表取締役</p>            |  <p>常議員<br/>高田 巧<br/>㈱高田メンテナンス<br/>代表取締役</p>        |  <p>監 事<br/>南都 正弘<br/>税理士法人 ホーテックス総合会計<br/>代表社員</p> |  <p>監 事<br/>伴 道弘<br/>網走信用金庫<br/>常務理事</p>         |  <p>監 事<br/>齋木 俊彦<br/>㈱北洋銀行網走支店<br/>支店長</p> |    |
|  <p>議 員<br/>兼子 嘉夫<br/>㈱兼 子<br/>代表取締役</p>              |  <p>議 員<br/>佐々木 英之<br/>㈱網走広報社<br/>代表取締役社長</p>       |  <p>議 員<br/>土屋 善治郎<br/>土屋工業㈱<br/>取締役社長</p>          |  <p>議 員<br/>石川 信弘<br/>㈱石川建設<br/>代表取締役</p>        |  <p>議 員<br/>三枝 敏昭<br/>㈱サエグサ<br/>代表取締役会長</p> |  <p>議 員<br/>瀬尾 哲巳<br/>日本ホワイトファーム㈱<br/>管理本部人事部長</p> |
|  <p>議 員<br/>小堀 彰<br/>㈱網走衛生センター<br/>代表取締役</p>          |  <p>議 員<br/>松木 一則<br/>(有)松木商店<br/>代表取締役</p>         |  <p>議 員<br/>田中 雄一<br/>網走中央商店街振興組合<br/>理事長</p>       |  <p>議 員<br/>今富 栄治<br/>㈱不動産情報センター<br/>代表取締役社長</p> |  <p>議 員<br/>堀口 敏幸<br/>㈱花のれん<br/>代表取締役社長</p> |  <p>議 員<br/>吉野 英男<br/>(有)サン冷菓<br/>代表取締役</p>        |

|   |  |  |  |  |   |
|---|--|--|--|--|---|
| <br>議員<br>松尾 富彦<br>松尾鉄工(株)<br>代表取締役      | <br>議員<br>丸田 朗<br>(株)丸田組<br>常務取締役         | <br>議員<br>塩川 顕児<br>塩川建設(株)<br>代表取締役         | <br>議員<br>小玉 晃<br>(有)小玉建設<br>代表取締役社長      | <br>議員<br>倉 信一郎<br>倉繁醸造(株)<br>取締役社長       | <br>議員<br>浅利 栄治<br>(株)網走湖荘<br>取締役専務        |
| <br>議員<br>寺中 賢武<br>寺中建設(株)<br>代表取締役社長    | <br>議員<br>中山 寿一<br>(株)写真工芸社<br>代表取締役社長    | <br>議員<br>松下 伸次<br>(有)能取湖荘<br>代表取締役         | <br>議員<br>大谷 義則<br>(有)大谷蒲鉾店<br>専務取締役      | <br>議員<br>小岩 吉夫<br>(株)日専連オホーツク網走<br>代表取締役 | <br>議員<br>中村 信<br>(株)そうけん<br>代表取締役         |
| <br>議員<br>古谷 重雄<br>(株)ムラコシ<br>代表取締役社長    | <br>議員<br>千葉 修<br>医療法人社団 青沼医院<br>常務理事・事務長 | <br>議員<br>柏原 清一<br>(株)力ネキ柏原<br>代表取締役        | <br>議員<br>平間 敏明<br>網走交通(株)<br>代表取締役社長     | <br>議員<br>船木 久美<br>(株)ダイハツ販売網走<br>代表取締役   | <br>議員<br>江崎 正美<br>(株)デンソー網走テストセンター<br>取締役 |
| <br>議員<br>河邊 雅浩<br>河邊法律事務所<br>弁護士      | <br>議員<br>夏見 宗一<br>(株)夏見建設<br>代表取締役     | <br>議員<br>嘉多山知宏<br>(株)嘉多山カルフウム工社<br>取締役社長 | <br>議員<br>藤原 誉康<br>税理士法人藤原会計事務所<br>代表社員 | <br>議員<br>山崎 聡<br>(株)北斗建設<br>代表取締役      | <br>議員<br>鴻巣 直樹<br>(株)三光<br>代表取締役社長      |
| <br>議員<br>小島 隆義<br>(株)クリーンスター<br>代表取締役 | <br>議員<br>新谷 光一<br>(株)新谷商店<br>代表取締役社長   | <br>議員<br>田中 勝則<br>(株)タナカ<br>代表取締役        | <br>議員<br>本田 俊之<br>本田菓子舗<br>事業主         |   |   |

## 網走市技能功労者表彰

網走市の技能功労者表彰に当所議員の堀口敏幸氏（鮭かつぽう花のれん）が受賞されました。堀口さんは、地元網走の食材を利用し工夫を凝らした料理の創作などに研究熱心で、網走郷土料理名店会の事務局長をはじめオホーツクザンギ推進協議会の代表などを務め、地場産食材の普及に積極的に努めており、更に昨年の東日本大震災では、業界や関係団体に働きかけ、率先して被災地で炊き出し支援をするなど飲食業界や地域の発展に多大な貢献をしていることが認められました。

この表彰は、技能尊重の気運を醸成し、技能者の社会的、経済的地位を向上させるとともに市の産業発展を促進させるため実施されています。



堀口 敏幸 氏

当所議員  
**堀口敏幸氏が受賞**



# 次代を拓く



◆ごあいさつ  
**添田 伸さん**  
そえだ しんさん  
 網走青年団体連合会 代表

**地域発展に貢献  
 子供たちの未来に向けて  
 活気ある街づくりを展開**

新年あけましておめでとうござい  
 ます。皆様にはお健やかに平成25年  
 の新春をお迎えのこととお慶び申し  
 上げます。

日頃より網走商工会議所の会員の  
 皆様には温かいご指導ご鞭撻を賜り  
 厚くお礼申し上げます。

さて、私ども「網走青年団体連合  
 会」は、現在10の青年団体で構成さ  
 れており、本年度8年目を迎える団  
 体でございます。

当団体の主な事業として「網走一  
 番！秋祭り」を中心に全市的な街づ  
 くりをおこなっております。

昨年は、今まで開催していた時期  
 と場所を、網走市民や観光客の方々  
 のニーズに合わせて暖かい時期であ  
 る8月に変更し、エコセンターに  
 おいて『網走一番！夏祭り』を開催  
 しました。

お祭りでは、我々のキャッチフレーズ



日本一長いちくわづくりの様子

を提供することができました。

また、いまや全国区で争奪戦を繰  
 り広げている「世界一長いちくわ作  
 り」では、多くの子供たちも参加し  
 13m超えのちくわを焼き上げること  
 ができ、長崎県雲仙市や鳥取県倉吉  
 市とのちくわ対決は、マスコミも注  
 目するまでに成長しております。

当会では、市民は勿論、日本全国  
 に豊富な食材に恵まれている当地か  
 ら食育を通じてPRし、地域の発展  
 と子供たちの未来のため活気ある街  
 づくりを展開していく所存ござい  
 ます。

会員の皆様にとって新しい年が健  
 康で幸せな一年  
 でありませう  
 心からお祈り申  
 上げますと  
 もにこれまで以  
 上のご支援ご協  
 力をお願い申し  
 上げます。



会場をLED電球で星空のように

でもある「網走は  
 うまいんです」を  
 掲げて網走産食材  
 を使った出店のほ  
 か、歌手のサンプ  
 ラザなかのくんを  
 ガストに迎え、た  
 くさんの市民や観  
 光客に賑わいの場

## 心豊かに自分らしく生きる ～つながる よりそう～

講演で女優・東 ちづるさん 熱弁

2012「会員の集い」を開催



東ちづるさんの講演の様子

事業経過  
**ダイジェスト**  
 平成24年度下半期  
 (10月～12月)



つどう会の様子

12月12日(水) 網走セントラル  
 ホテルを会場に『会員の集い』を  
 開催しました。

この事業は会員の元気づくりを  
 目的に例年開催しているもので、  
 第1部は女優としてドラマやCM  
 の他、骨髄バンクなど様々なボラ  
 ンティア活動を長年続けておられ  
 る東ちづるさんをお招きし「つな  
 がるよりそう」と題した講演会が  
 行われました。

講演会では、東さんが少女時代  
 に受けた心の葛藤やボランティア  
 活動と奉仕活動の違いなどについ  
 て話された他、「人は皆、生まれた  
 時から違うもの、個性を大切にし、  
 心豊かに自分らしく生きてほし  
 い」と語りました。

その後に行われた「つどう会」  
 も昨年とは趣向を変え例年以上に  
 盛り上がっている会員さんの姿が  
 印象的でした。

### ■あばしりファン倶楽部「冬の部会」を開催！

企業や官公庁の出先機関が多い網走において、そこに勤めている方々が当地での短い生活期間中に網走のファンになってもらい、網走の地を離れた際も当地の魅力を広げていただくことを目的に網走の食・文化・伝統などの魅力を紹介しております。(風の人56名、土の人34名)

冬の部会では、第1部として「網走の観光と食」をテーマに井上利則氏(株いの上 代表取締役)の講演を実施したほか、第2部では網走の冬の味覚として希少価値の高い「藻琴湖産の牡蠣<sup>かき</sup>」を堪能いただきました。



### ■平成24年度 永年勤続優良従業員 優秀従業員表彰式を実施

11月14日(水)市内ホテルにおいて上記、表彰式を開催。26事業所、58名の方が中原会頭より直接表彰状を授与されました。表彰後行なわれた祝賀会では事業主が従業員に対し日頃の勤労を称える様子が見受けられました。



### ■2012あばしり経営塾を開催

経済のグローバル化、情報化の進展、少子高齢化など、経済構造が目まぐるしく変化する中、当所では、事業展開のための経営戦略、経営改善、マネジメント知識、ノウハウを体得していただくことを目的に11月中、4講のカリキュラムを開催しました。



### ■経営等に関する個別相談会を実施！

当所において、専門的な農商工連携や経営革新、事業承継等の経営課題に対し、北海道経済産業局より中小企業支援ネットワークアドバイザーが毎月派遣され、これまでに15企業23件の相談に応じ、問題解決に向けたお手伝いを行ないました。

### ■若手社員研修会を実施

今春、社会に出たばかりの新入社員や入社2～3年目の若手社員を対象に、個々の仕事の振り返り、今後の目標を立てることが出来る様になってもらおうと11月に当所において開催しました。12事業所、20名の従業員が受講されました。



### ■商業活性化セミナーを開催

不況と言われる現代、「モノ」を売るのではなく「体験」を売る「エクスペリエンス・マーケティング」の考え方で、数多くの集客施設や販売指導を手掛けている藤村正弘氏(フリーパレット集客施設研究所主宰)を講師に迎え『モノを売るな体験を売れ』とのテーマでセミナーを開催しました。





## ■ 当所議員会の研修会を開催

当所議員会では、地域経済の実情と今後の方向性を探るため、地域振興講演会を開催。

政治、経済、地域振興などに関する諸課題の研究を通じ、地域経済の振興などに役立てようと例年、時事に即したテーマを掲げて開催しています。

今回、講師として十勝毎日新聞社の林浩史社長を招き、「情報発信からみる地域振興」をテーマに地域活性化の可能性を学びました。



## ■ 網走中心市街地活性化事業（ホワイトイルミネーションを実施中）

TMO事業委員会では、冬期間の中心市街地の魅力アップを図ることを目的に12月7日～2月14日までの約2ヶ月間、午後4時から午後9時までの時間帯に、アプト4内の歩行者空間において低電力のLED灯2万5千個を使用し“まちなか”を温かく彩っています。

また、12月7日(金)～8日(土)には、まちプラにおいて「あったかよじょう屋台村」を開催。網走市内で収穫した野菜や加工品などが即売され、多くの市民が訪れました。



## ■ 中小企業年末資金等の金融円滑化を要望

当所（中原会頭）は、市内4つの金融機関（網走信金・北洋銀行・道銀・釧路信組）を訪問し、地元企業への年末資金需要に対応するよう金融円滑化に向けた要望書を手渡しました。



## ■ 社交飲食業に対する支援活動を実施

当所観光委員会（鈴木秀幸委員長他）並びに市内の飲食業界関係者（網走ぐるめ街活性化協議会、網走郷土料理店会、あばしりご当地グルメ開発委員会、網走鮭商組合）と共に水谷市長をはじめ市内の官公庁を回り、年末年始に市内における飲食の機会を作っていただけるよう呼びかけました。



## 第48回あばしりオホーツク流氷まつり 雪像制作募集のお知らせ

流氷まつりは、本年で48回目を迎えることとなりました。もう少しかけて半世紀と永きに渡って開催して来られたのは、先人たちの苦勞のおかげと感謝する次第でございます。

『第48回あばしりオホーツク流氷まつり』は、平成25年2月9日(土)～11日(月・祝)までの3日間、網走商港を舞台に開催いたします。

会社内の仲間意識や友達や恋人同士の絆を深めるためにも是非、雪像の制作にご協力願います。



- ★制作期間 平成25年1月21日(月)～2月7日(木)まで（※予定）
- ★制作場所 網走商港埠頭会場
- ★制作人数 人数に制限はございません。
- ★記念品 参加者全員に記念品が配られます。
- ★休憩所 会場に用意しております。
- ★申込締切 平成25年1月8日(火)
- ★取組概要 小規模な雪像を制作する場合、2～5名で1週間程で制作可能です。

▶お問い合わせ先：あばしりオホーツク流氷まつり実行委員会 制作部会 事務局 大西まで  
網走商工会議所内、TEL0152-43-3031 FAX0152-43-6615



網走商工会議所青年部（YEG）は、当地域の振興発展や会員相互の親睦、企業経営者としての研鑽を積むことを目的に活動しております。

現在、69名の会員が所属。目的実現のためにメンバーが一丸となって各種事業を実施しております。

まちづくり活動では、「第66回あばしりオホーツク夏まつり」への協力や市内青年団体で構成する網走青年団体連合会が主催した「網走一番！夏祭り」への参画。また街おこしを「趣味」から考え、新しい視点からまちの活性化に活路を見い出すための検討を行いました。

また、網走のキャラクターを誕生させる「あばしりキャラグランプリ」を企画し、たくさんの方々のご協力の下、網走市公認のキャラクター「ニポネ」を誕生させることができました。

このような対外的な活動を行う一方で、メンバーが定期的に集まり、フェイスブックの活用方法を学ぶセミナーや救急

救命の方法を学ぶ研修会、実際に体力測定を行って健康管理と体力維持の重要性を学ぶ講習会など自己研鑽活動も行なっております。その他にも各地のYEGメンバーとの交流活動も行なっており、今年度は東日本大震災で被災した宮城県石巻市のYEGメンバーが当会に転動により入会したことをきっかけにチャリティボウリング大会を開催。集まったお金を網走産の食材に変えて石巻YEGに送り、地元のお祭りに活用していただきました。

青年部では、今後もメンバー一人一人が目的意識を持って一丸となり多くの方々と協力し合いながら地域振興の一翼を



宮城県石巻市YEGから送られてきたお礼の写真

担って参ります。また、青年部では現在、一緒に活動していただけるメンバーを募集しております。興味のある方はお気軽に事務局までご連絡いたします。



網走市の公認キャラクターとして選ばれた渡邊晃子さんの作品（ニポネ）

### YEGが運営するブログ

『あばぶろ』は毎日更新！

網走を中心とした情報が満載です!!

是非、ご覧下さい。

【URL】<http://www.abablog.jp>

## 網走商工会議所女性会活動報告

# 女性会だより

網走商工会議所女性会（会長 松田裕子・会員33名）は、会員相互の親睦と企業経営者のパートナーとして研鑽を積むことを目的に毎月1回の例会を基本に活動しております。

本年取り組んできた活動としては、地域への協力活動として、当市「あばしりオホーツク夏まつり」のメイン行事の一つである「流水おどり」の参加者に飲物を配布するなど実行委員会への協力を行ってきました。

また、講習会関連では日常生活で起こりうる危険防止と対処法を学ぶため、防火訓練や救命講習を実施した他、2009年にヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで日本人初の優勝を果たし、世界から脚光を浴びている全盲の天才ピアニスト「辻井伸行」氏の母、「辻井いつ子」氏による講座（網走市民大学講座）

の受講や例年、冬の恒例行事であるフラワーアレンジメントを実施しました。

今後、市内で開催されるイベント等への協力や講習会等とおして、会員企業の発展及び商工会議所活動の一端を担えるよう積極的に活動して参ります。

また、女性会では一緒に活動していただけるメンバーを募集しております。

興味のある方は事務局（担当 千田）までお問合せ下さい。



11月例会の様子（社会保険制度について学ぶ）



## 会員さんの紹介⑩

(株)不動産情報センター

代表取締役社長

いまとみ 栄治さん

今回紹介する会員さんは、全国ネットワークのアパマンショップとして不動産の仲介業や管理業をおこなっている(株)不動産情報センターさんです。

開業は平成3年に現社長が公務員を定年退職するにあたり、『お世話になった網走の市民のために何か役立てる仕事したい』と考え、宅地建物取引主任者の資格を活かし創業したそうです。

創業する前は相談者の声を聞きながらゆっくりと営業していくつもりだったそうですが、いざ事業を始めると見ると毎日寝る暇も無い程の忙しさだったとのこと、特に東京農業大学オホーツクキャンパスが開学したばかりで大学生が住むアパートが不足しており、親御さんから「何とかしてほしい」との要望を受け、市内にあるアパートを一件一件回り、大家さんにお願ひして歩いたそうです。また、創業当時はまだ大家さんが自ら入居の募集をおこなっていることが多く不動産業者に仲介を依頼することが当たり前ではなかった時代

で、地上げなどがニュースで取り上げられ不動産会社に対する悪いイメージがありました。

その中で、大家さんが仲介を依頼することで得られるメリットを理解してもらうため、仲介業以外のことも相談に乗り信用を得てきたそうです。

平成13年には、いち早くインターネットで物件を探す時代に備え、全国ネットワークのアパマンショップに加盟した事で多くの方が網走で気軽にお部屋探しができるようになりました。

今後の展望として「不動産会社はお客様を円滑に安心して不動産取引してもらおうための会社。創業当時の人の役に立ちたいという気持を大事にし、お客様に求められる会社であり続けられるよう使命を果たしたい」とお話しただきま



網走支局に赴任をして、早いもので1年半になりました。人事異動はなかなか希望通りにならないのが、私の生活の常ですが、私にとって、行きたいと思いが初めてかなったのが、ここ網走でした。十数年前、美幌支局で3年間仕事をしました。札幌の本社に戻り、紙面の編集を担当し、仕事が終わるのが早く午後10時、遅いと午前3時という生活を送っている内に、オホーツクの青い空と、おいしい食べ物に恋しくなりました。

## 風の人(転勤族)からみた網走(10)

### 北海道新聞網走支局

支局長 高田 純一 さん

さて、仕事の話です。北海道新聞社の支局は、取材の最前線という位置づけで、ここ網走では私と、若手の記者2人の合計3人で、網走、大空、清水、清里、斜里の一市4町をカバーしています。幸い、重大な事件事故は少なく、まちづくりの話題や地域の課題など、前向き

なテーマが多いのが特徴です。オホーツク海の流水や世界自然遺産・知床など、自然の素材は第一級。日本のマスメディアの取材拠点で、これほど対象に恵まれているのは、他にはないでしょう。地域の人には当たり前の出来事が、そのまま全道全国ニュースになる可能性があります。競争相手である他紙の記者も、網走から大いに発信していこうという思いは同じようですから気が抜けません。冬を迎え、隣の取材に出かけるのにも、吹雪の農道で車を走らせるなど厳しい季節ですが、ここオホーツクのあたたかい人々や暮らし、大きな自然を対象に仕事ができる幸せを感じて仕事をしているところ。商工会議所の会員事業所の皆様には、いろいろとお世話になります。地域から前向きな経済ニュースなどを発信できたらとの思い

でいますので、新しい事業展開など明るい話題がありましたら、ぜひご紹介下さい。ネット全盛の時代を迎え、新聞などのメディアに何ができるのか、難しい課題なのですが、道内各地域のニュースを掘り出し、広く伝えるのは、まだ我々にしかできないと自負しているところです。

## 商工会議所共済制度

保障内容の確認、経費節減のために

# 証券診断サービスを 実施中!!

- 経営者・役員の方の保障、退職金準備に備えて
- 一生涯の入院保障について

【保険引受会社】

**アクサ生命保険株式会社**

■ お問い合わせ

網走商工会議所(☎0152-43-3031)

アクサ生命保険(株)(☎0152-44-4425)

## クリオネ共済に ご加入を!

**最高1,000万円まで保障**

クリオネ共済は、当所会員事業所のみ、ご加入いただける共済制度です。

役員・従業員の複利制度として業務上・業務外を問わず24時間保障が受けられます。

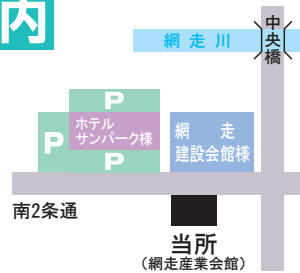
是非、この機会に当共済にご加入いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

～お問い合わせは当所まで～

当所並びに網走産業会館をご利用の皆様へ

## 駐車場のご案内

当所会館向かいにございます  
ホテルサンパーク様の横を駐車場  
(網走商工会議所専用)をご利用  
いただきますよう、よろしくお願い  
申し上げます。



当所周辺は駐車禁止となっております。

除排雪の妨げとなりますので、駐車スペース以外にお止めになりませんようご協力願います。

## ミニドック検診 のお知らせ

事業主や従業員の皆様の健康管理  
に是非お役立て下さい!

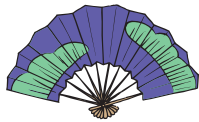
● 日時：2月15日(金)~17日(日)

● 会場：網走市保健センター  
(網走市北3条西4丁目)

★ミニドック検診の詳細については、  
同封の案内文書をご覧ください。

## 年末・年始 当所業務のご案内!

**12月29日(土)~1月6日(日)まで  
閉所とさせていただきます。**



—— 1月7日(月)より通常業務となります。

# 迎春

## 総合火災共済、普通火災共済、新価共済特約

みなさまのニーズに合わせて大切な財産をしっかりお守りいたします。

### 総合火災共済のおすすめ

※ 普通火災共済より補償範囲が拡大します。

お申し込み・お問い合わせは…**網走商工会議所へ**

北海道火災共済協同組合 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 Tel.011-231-1322